

すいたの年輪ネットについて

資料 3-1

市域での取組

地域での取組

「高齢者の生活支援と社会参加に関する調査(H28)」検討

【 高齢者の社会参加促進 】

- ・気軽に立ち寄れる居場所
- ・地域活動への参加

- 集いの場の集約、充実・活性化等について検討

集いの場交流会で運営団体の課題等を共有
(担い手、活動内容、参加者の固定化等)

吹田市高齢者生活サポートリスト「集いの場編」発行

【 高齢者の生活支援 】

- ・高齢者に必要な生活支援サービス
- ・高齢者による高齢者の生活支援

- 高齢者生活支援について検討

- ・市内の生活支援サービスの集約について
- ・(仮称)ちよこっとサポーターについて

- 地域での議論をスタート

- ・地域の強み/弱みを確認
- ・地域課題や取組めること等を意見交換

高齢者のこれからを考える交流会の開催
(各ブロックで開催)

平成28年
～平成29年度

平成30年
～令和元年度

- 集いの場支援、高齢者の社会参加促進を検討

- ・集いの場の活動内容充実方法等について
- ・移動支援について勉強会開催(※)

- アクティブシニア養成 (高齢者の社会参加促進)

吹田市高齢者生活サポートリスト
「シニア世代の活動場所編」発行

「地域元気アップ講座」開催(担い手養成講座)

- 市内の高齢者生活支援サービスの集約

吹田市高齢者生活サポートリスト
「生活支援サービス編」発行

- 高齢者生活支援サービスの検討

- ・高齢者の困りごと(簡易な生活支援)に対して、吹田の強みを生かした仕組みについて検討

- 地域課題の共有・地域ケア会議との連携

- ・地域包括支援センター/CSW/生活支援コーディネーターが定期的に地域課題等を共有する意見交換会を開催

- 地域での高齢者生活支援について検討

- ・各地域課題を地域団体、地域包括支援センター、CSW 等と意見交換

「助け愛隊」創設

対象:一人暮らし高齢者(75歳～) 内容:電球交換、季節家電の入れ替え、大型ゴミ搬出、庭掃除

- コロナ禍で可能な高齢者生活支援を協議

- ・「身近・少人数で検討できる地域での高齢者生活支援」を推進

- ・コロナ禍で外出機会減少、認知機能の低下を支援・推進

- 大学生と連携した高齢者対象のスマホ講座の推進

- 地域での取組みを推進するために地域型生活支援コーディネーター配置について検討

- 「おうち時間」で可能な高齢者生活支援を推進 (ICT ツール等の活用)

- ・「みんなとあそぼ!」(福祉施設と連携して作成した体操等の動画)をインターネット公開

- ・吹田市高齢者生活サポートリストを ICT ツールを活用してインターネット公開(※)

- 身近な地域での検討の場を創出

- ・地域課題を地域団体、地域包括支援センター、福祉事業所、CSW 等の多様な団体で検討

地域検討会の発足・コーディネート

大学生による高齢者スマホ講座を開催

- 多世代で高齢者生活支援を実施

令和2年度
～令和3年度

令和4年度
～令和5年度

- 今後、高齢者生活支援で取組むテーマを協議

生活支援・社会参加促進

①助け愛隊活動の充実

活動内容を再検討し令和6年度より「助け愛隊 vol.2」へ、地域版助け愛隊創設を推進

②マンション住民の高齢化を検討

マンション自治会等を対象にフォーラム開催、マンションでの高齢者生活支援を検討

③全世代が参画する高齢者生活支援

スマホ講座等を通して大学生・多世代との交流を推進
「全世代ごちゃまぜ化」で高齢者生活支援を推進

- 地域検討会の推進

- ・地域課題、すいたの年輪ネットでの協議内容等を検討

地域型生活支援コーディネーターを配置

福祉委員会活動、買い物支援等で福祉施設による送迎支援をコーディネート(※)

令和6年度
～令和7年度

- R4～R5 での協議を基に活動展開

①助け愛隊の見直し・周知、地域で助け愛隊ボランティア講座開催

②マンション交流会の開催

- 第9期吹田健やか年輪プランにかかる高齢者等の生活と健康に関する調査報告書について協議

①生きがいづくりと健康づくり・介護予防の推進

- ・関心が低い人、行けない人をどうつなげるか →居場所の工夫、取り組み内容の工夫、多世代交流

- ・担い手をどのように増やすか →住民以外の参画、担い手=団体役員・委員にこだわらない

②地域における支援体制の充実

③認知症施策の推進

- ・認知症の理解を深める取組み強化、家族負担の軽減 →みまもりあいアプリの活用推進

④生活支援・介護サービスの充実

⑤安心・安全な暮らしの充実

- 上記調査報告書の協議+R6 地域ケア会議(4ブロック)で「認知症支援」がキーワード

R7～ ①認知症みんなでつながるプロジェクト ②市民主体型 DX 推進実行委員会発足

- 地域検討会等での検討・活動が活発化

- ・多様な団体、事業所等が参画して課題を検討

③全世代が参画する高齢者生活支援

- ・多世代交流、ICT 支援、認知症啓発、社会参加

- スマホ講座(相談会)

- みまもりあいアプリでスタンプラリー

- サロン等での送迎支援(外出支援)

など

- ・健康増進、介護予防、社会参加

- ぶらり散歩

- ・生活支援

- 買い物支援・地域資源 MAP 作成

- ・企業等との連携

- 介護フェア

- 銀行での介護保険相談会 など